



まきびのまきび
 真備で生まれたスーパーマン、吉備真備

まきび記念館はまきび公園内に建設され、昭和63年11月3日に開館しました。館内では吉備真備の生い立ちと業績、遣唐使して唐にわたっていた時の逸話を描いた掛け軸や巻物などを展示しています。建物も四隅がぐんとそり上がった屋根と朱塗りの柱や装飾が中国情緒を漂わせ、中には庭園を見渡せる休憩所もあります。この建物がある、まきび公園は昭和61年5月に中国の西安市に吉備真備記念碑と周囲に日本庭園が完成し郷土の偉人を後世に伝えています。

◆ 施設のおすすめ

まきび記念館では、吉備真備にまつわる様々な展示物があります。たとえば、吉備真備は日本へ囲碁を持ち帰り、カタカナを発明し、刺繍の技術を日本に伝えるなど様々な功績をあげています。中でも、遣唐使として唐(中国)に渡った吉備真備が、鬼に化けた阿倍仲麻呂などの助けも借りて、さまざまな無理難題を乗り越えるお話を描いた巻物吉備大臣入唐絵巻はおすすめです。飛行自在の術を使って空を飛んだり、囲碁の勝負をするために格子の天井を碁盤に見立てて阿倍仲麻呂に教えてもらったり、双六の道具を使って太陽と月を隠したりして、難を乗り切った吉備真備は無事に日本に戻ることができたという素敵なお話が綴られています。

◆ 子どもたちへのメッセージ

吉備真備は多才な人物で学識も高く、地方の豪族から右大臣まで上り詰めたのは吉備真備と菅原道真の二人しかいません。地元では吉備様と親しみを込めて呼ばれ、学問の神様としてあるいは囲碁の神様として信仰されています。勉強を頑張りたいとき、受験が控えているとき、合格祈願にぜひ訪れてみてください。



まきび記念館



ボランティアガイドの有岡さん



唐(中国)の皇帝に拝謁する吉備真備



吉備真備はカタカナも発明しました



まきび記念館の中にある休憩所



吉備大臣入唐絵巻の一部



吉備真備の木造